

公立大学法人大阪府立大学

平成 23 事業年度の業務実績に関する評価結果

平成 24 年 8 月

大阪府地方独立行政法人評価委員会

# 目 次

1 公立大学法人大阪府立大学の年度評価の考え方	1 ページ
2 全体評価	2 ページ
(1) 評価結果と判断理由	
<全体評価にあたって考慮した事項>	
① 公立大学法人大阪府立大学の基本的な目標	
② 平成23年度における重点的な取組み	
③ 特筆すべき取組み	
(2) 評価にあたっての意見、指摘等	
3 大項目評価	
3-1 「教育研究等の質の向上」に関する大項目評価	4 ページ
(1) 進捗状況の確認結果	
(2) 地域貢献及び国際化に関する評価結果と判断理由	
(3) 進捗状況の確認及び評価にあたっての意見、指摘等	
3-2 「業務運営の改善及び効率化」に関する大項目評価	6 ページ
(1) 評価結果と判断理由	
(2) 評価にあたっての意見、指摘等	
3-3 「財務内容の改善」に関する大項目評価	8 ページ
(1) 評価結果と判断理由	
(2) 評価にあたっての意見、指摘等	
3-4 「自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供」に関する大項目評価	9 ページ
(1) 評価結果と判断理由	
(2) 評価にあたっての意見、指摘等	
3-5 「その他の業務運営」に関する大項目評価	10 ページ
(1) 評価結果と判断理由	
(2) 評価にあたっての意見、指摘等	

## 1 公立大学法人大阪府立大学の年度評価の考え方

- 本評価委員会においては、公立大学法人大阪府立大学の平成23事業年度の業務実績について、「公立大学法人大阪府立大学にかかる年度評価の考え方について」（平成17年12月26日決定、平成24年3月16日改正）に基づき、次のとおり行った。

### <評価の基本方針>

評価にあたっては、国立大学法人評価委員会における評価方法を踏まえつつ、特に、法人化を契機とする大学改革の実現、教育研究の特性への配慮、公立大学としての地域における役割と府民への説明責任の3点を考慮する。

### <評価の方法>

評価は「項目別評価」と「全体評価」により行う。

このうち「項目別評価」では、法人による自己評価・自己点検の結果をもとに、業務実績に関する事実確認、法人からのヒアリング等を通じて、年度計画の進捗状況を確認するとともに、法人の自己評価・点検の妥当性の検証と評価を行う。

「全体評価」では、「項目別評価」の結果等を踏まえつつ、中期計画等の進捗状況全体について総合的な評価を行う。

### <「教育研究等の質の向上」に関する項目の取り扱い>

「項目別評価」のうち、「教育研究等の質の向上」（「地域貢献等に関する項目」及び「国際化に関する項目」を除く）に関する項目については、教育研究の特性への配慮から、その専門的な評価については、「認証評価機関による評価」を踏まえることとする。したがって、本評価委員会としては、専門的な観点からの評価は行わず、進捗状況の確認にとどめる。（地方独立行政法人法第79条参照）

- 第2期中期目標期間が開始する平成23事業年度より、「教育研究等の質の向上」の項目のうち「地域貢献等に関する項目」及び「国際化に関する項目」については、進捗状況の確認にとどまらず、評価を行なうこととした。
- なお、平成23事業年度より、業務の実績に関する報告書の体裁を見直し、府民に対するディスクロージーズを強化するため、小項目数の整理・統合、箇条書きや表の活用等によりその内容をより分かりやすいものとするとともに、活動実績だけでなく事業成果も報告事項に含めることでより客観的なものとなるよう改善を図った。

## 2 全体評価

### (1) 評価結果と判断理由

- 平成23事業年度の業務実績に関する評価については、4ページ以降に示すように、大項目のうち、「教育研究等の質の向上（地域貢献及び国際化の項目のみ）」、「財務内容の改善」、「自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供」及び「その他の業務運営」の4項目についてはA評価（「計画どおり」進捗している）、「業務運営の改善及び効率化」についてはB評価（「おおむね計画どおり」進捗している）が妥当であると判断した。また、「教育研究等の質の向上」全体についても「計画どおり」進捗していることを確認した。
- 特に、専門職種における総じて高い国家試験合格率の達成等社会に貢献する優秀な人材育成への取組みや、工業高等専門学校における出前講座・公開講座の積極的な開催などの地域貢献の推進、前年度実績を上回る外部資金の獲得については評価したい。
- また、難易度の高い教員業績評価制度の導入に向けて取り組んでいる姿勢も評価できるが、制度の運用計画については大きな遅れが生じており、今後一層の努力を求める。
- 以上の大項目評価の結果に加え、公立大学法人大阪府立大学の基本的な目標、23年度の重点的な取組み等を総合的に評価し、平成23事業年度の業務実績については、「全体としておおむね年度計画及び中期計画のとおりに進捗している」とした。

なお、法人の取組みを俯瞰して、本評価委員会として、次の意見を付記する。

地域貢献の積極的な推進、外部研究資金の獲得増加など平成23年度においても目標に向けて十分な努力をされている点は、全体として高く評価する。現在、7学部から4学域体制への再編という大きな変革も成し遂げ、着実に改革を定着させていくという重要な時期を迎えているが、戦略性を持って人材育成や教育研究等に取り組み、社会における公立大学としての存在意義を高めることが必要である。

教育研究等の質の向上 (4ページ)	「計画どおり」進捗していることを確認 ※ 地域貢献及び国際化の項目については、A評価とする				
	S 特筆すべき 進捗状況	A 計画どおり	B おおむね計画 どおり	C やや遅れている	D 重大な改善事 項あり
業務運営の改善及び効率化 (6ページ)	S 特筆すべき 進捗状況	A 計画どおり	B おおむね計画 どおり	C やや遅れている	D 重大な改善事 項あり
財務内容の改善 (8ページ)	S 特筆すべき 進捗状況	A 計画どおり	B おおむね計画 どおり	C やや遅れている	D 重大な改善事 項あり
自己点検・評価及び情報提供 (9ページ)	S 特筆すべき 進捗状況	A 計画どおり	B おおむね計画 どおり	C やや遅れている	D 重大な改善事 項あり
その他の業務運営 (10ページ)	S 特筆すべき 進捗状況	A 計画どおり	B おおむね計画 どおり	C やや遅れている	D 重大な改善事 項あり

法人の基本的な目標、23年度の重点的な取組み等を  
総合的に考慮して・・・

#### <全体評価の評価結果>

「全体としておおむね年度計画及び中期計画のとおりに進捗している」

## <全体評価にあたって考慮した事項>

### ① 公立大学法人大阪府立大学の基本的な目標

公立大学法人大阪府立大学は、従来から広い分野の総合的な知識と深い専門的学術を教授研究し、豊かな人間性と高い知性を備え、応用力や実践力に富む有為な人材の育成を行うとともに、その研究成果の社会への還元を図り、もって地域社会及び国際社会の発展に寄与することを目的としている。この目的に加え、新たな公立大学法人大阪府立大学としての改革を着実に推進するための取り組みを行う。

### ② 平成23年度における重点的な取り組み

- ・ 平成24年度からの新学域体制への移行及び全学組織の見直し
- ・ 学士課程教育の充実
- ・ 地域の活性化を目指した地域貢献
- ・ 自律的な収支構造を目指した、経営戦略を推進
- ・ 国際交流事業の積極的展開
- ・ 戦略的な広報活動とブランド力の強化
- ・ 大学と高専との連携による、人材養成の強化

### ③ 特筆すべき取り組み

項目別評価の結果をもとに、特筆すべき取り組みについて、次のとおり確認した。

- ・ 平成24年4月から、従来の学部・学科からより幅の広い学域・学類体制への転換を図るため、7学部28学科を4学域13学類へと改編する準備を推進し、短期間で大きな改革を実現したと認められる。
- ・ 大阪府立大学では、専門職種に関して、総じて全国平均を上回る高い水準の国家試験合格率を達成した。
- ・ 工業高等専門学校では、積極的に出前講座・公開講座を行い、地域貢献活動を強化した。
- ・ 民間企業等との共同研究、受託研究や特許取得累計件数で、年度計画を上回る成果を上げた。

## (2) 評価にあたっての意見、指摘等

- 4学域体制への改編という大きな変革を成し遂げつつ、人材育成のさらなる強化に取り組んでおり評価する。
- 前年度を上回る外部資金の獲得を実現させたことは、大阪府立大学が研究活動に精励し、その実績が社会的に認められていることを表すものである。引き続き、研究活動の充実・強化に期待する。
- グローバルに活躍できる人材が求められている現代において、大学の人材育成機関としての責任は大きく、かつ、大阪府立大学にはその責任を果たす力があると確信している。今後一層大学の国際化に向けた取り組みを前進させることが求められる。

### 3-1 「教育研究等の質の向上」に関する大項目評価

#### (1) 進捗状況の確認結果

- 「教育研究等の質の向上」の地域貢献及び国際化以外に関する11の小項目について、進捗状況をチェックしたところ、教育、研究いずれの分野においても、全体的に計画どおり進捗しており、教育研究活動が着実に進められるとともに、その質的向上が図られていることを確認した。特に、次の点については、特筆すべき進捗があったことを確認した。
  - ・ 平成24年4月から、従来の学部・学科からより幅の広い学域・学類体制への転換を図るため、7学部28学科を4学域13学類へと改編する準備を推進し、短期間で大きな改革を実現したと認められる。

#### (2) 地域貢献及び国際化に関する評価結果と判断理由

- 小項目評価の集計結果では、A評価（「計画どおり」進捗している）となる。
- 大阪府立大学では、高い水準での専門職種の国家試験合格率の達成による社会に貢献する優秀な人材の育成や共同研究・受託研究の増加等、公立大学の重要な使命の一つである地域貢献に努めている。加えて、海外からの留学生受け入れについての目標数を達成するとともに、外国人招へい教員事業や海外留学支援事業などにより、国際交流活動の活発化や国際的に通用する研究能力の向上を図っている。また、工業高等専門学校では、積極的に出前講座・公開講座を行うなど、地域貢献を強化している。以上のような事項を中心に総合的に評価すると、全体として計画どおりすすめられていると認められる。
- これらの点から、大項目評価としては、A評価（「計画どおり」進捗している）が妥当であると判断した。

評価結果	S 特筆すべき 進捗状況	A 計画どおり	B おおむね計画 どおり	C やや遅れてい る	D 重大な改善事 項あり
------	--------------------	------------	--------------------	------------------	--------------------

#### <進捗状況の確認にあたって考慮した事項>

##### 特筆すべき進捗状況

- 特筆すべき項目は次のとおりであった。（《 》は小項目評価の項目、（ ）は項目番号）  
《教育研究の実施体制〔大阪府立大学〕》（20）～（22）
  - ・ 平成24年4月からの4学域13学類への改編準備を推進し、短期間で大きな改革を実現したことは、特筆すべき事項である。

#### ■地域貢献及び国際化に関する評価結果

#### <大項目評価にあたって考慮した事項>

##### 特筆すべき小項目評価

- 小項目評価がⅣ（計画を上回って実施）の項目は次のとおりであった。  
（《 》は小項目評価の項目、（ ）は項目番号、【 】は小項目評価の結果）  
《地域貢献ナンバーワン大学への取組み〔大阪府立大学〕》（35）～（43）【Ⅳ】
  - ・ 専門職種の国家試験合格率向上の点で、総じて全国平均を上回っており、また、社会福祉士、精神保健福祉士、理学療法士、管理栄養士において試験合格率の目標値を達成した。加えて、共同研究・受託研究の増加が図られていること等からも小項目全体として高く評価した。

《地域貢献等〔工業高等専門学校〕》(77)～(80)【IV】

- 工業高等専門学校において、積極的に出前講座・公開講座を実施することにより地域貢献を行なっている。出前講座・公開講座の実施回数目標値を大きく上回ったこと等から高く評価した。

その他

《国際化〔大阪府立大学〕》(54)～(56)【III】

- 海外からの留学生受入数の目標達成については評価する。  
また、外国人招へい教員事業や海外留学支援事業を実施する等国際化の取組みを充実させることによって、結果的に学生に長期留学への意欲を持たせる機運を高め、さらなる国際化の推進が期待できることは評価できる。

＜小項目評価の集計結果＞ 小項目評価結果P15～P22、P28参照

4項目のすべてが、小項目評価のⅢまたはⅣに該当するため、小項目評価の集計では、A評価（「計画どおり」に進捗している）に該当する。

		I	II	III	IV	V
		計画を大幅に下回っている	計画を十分に実施できていない	計画を順調に実施している	計画を上回って実施している	計画を大幅に上回って実施している
府大	地域貢献ナンバーワン大学	0	0	0	1	0
	諸機関との連携の強化	0	0	1	0	0
	国際化	0	0	1	0	0
高専	地域貢献等	0	0	0	1	0
合計		0	0	2	2	0

(3) 進捗状況の確認及び評価にあたっての意見、指摘等

- 日本人学生の海外留学に力を入れていくことが求められる。今後も日本人学生の海外への送り出し実績増加に尽力いただきたい。
- 公開講座の開催にあたっては、開催数だけでなく、受講生の満足度を調査するなど、講義内容の充実に向けての取り組みに力を入れられたい。

### 3-2 「業務運営の改善及び効率化」に関する大項目評価

#### (1) 評価結果と判断理由

- 小項目評価の集計結果では、C評価（「やや遅れている」）となる。
- 理事長のトップマネジメントが発揮できる組織づくりや保育施設の開設、教員組織の再編、事務組織の改革等、年度計画を着実に実施できている。教員業績評価制度については、運用に大きな遅れが生じているが、難易度の高い教員業績評価制度の導入に向け取り組んでいることは評価できる。以上を総合的に評価すると、全体としてはおおむね計画どおりに業務運営の改善が推進されていると認められる。
- これらの点から、大項目評価としては、B評価（「おおむね計画どおり」進捗している）が妥当であると判断した。

評価結果	S 特筆すべき 進捗状況	A 計画どおり	B おおむね計画 どおり	C やや遅れてい る	D 重大な改善事 項あり
------	--------------------	------------	--------------------	------------------	--------------------

#### <大項目評価にあたって考慮した事項>

##### 今後の課題となる小項目評価

- 小項目評価がⅡ（計画を十分に実施できていない）の項目は次のとおりであった。  
（《 》は小項目評価の項目名、（ ）は項目番号、【 】は小項目評価の結果）  
《教職員組織の運営の改善》（83）～（87）【Ⅱ】
- ・ 教員業績評価制度の運用に遅れが生じており、計画通り達成できていない。

##### その他

- 理事長のトップマネジメントが発揮できる組織づくりや保育施設の開設、教員組織の再編、事務組織の改革等については、年度計画を着実に実施している。

#### <小項目評価の集計結果> 小項目評価結果P29～P31参照

5項目のうち、4項目が小項目評価のⅢ、1項目がⅡに該当するため、Ⅲ～Ⅴの項目の割合は4/5となることから、小項目評価の集計では、C評価（「やや遅れている」）となる。

	I 計画を大 幅に下回 っている	Ⅱ 計画を十 分に実施 できてい ない	Ⅲ 計画を順 調に実施 している	Ⅳ 計画を上 回って実 施してい る	Ⅴ 計画を大 幅に上回 って実施 している
法人組織の改革	0	0	1	0	0
教職員組織の運営の改善	0	1	0	0	0
教員組織の改革	0	0	1	0	0
事務組織の改革	0	0	1	0	0
コンプライアンス・リスクマ ネジメントの強化	0	0	1	0	0
合計	0	1	4	0	0



**(2) 評価にあたっての意見、指摘等**

- 保育施設を開設するなど女性研究者のキャリア形成支援を先進的に行なっていることについて評価する。
- 難易度の高い教員業績評価制度の導入に向けての取り組みは評価する。しかし、制度の運用計画については大きな遅れが生じており、今後一層の努力が求められる。

### 3-3 「財務内容の改善」に関する大項目評価

#### (1) 評価結果と判断理由

- 小項目評価の集計結果では、A評価（「計画どおり」進捗している）となる。
- 大学のシーズ紹介フェアやホームドクター制度を活用した技術相談を通じた共同研究・受託研究等の獲得、国プロジェクトの採択等を通じて、外部資金獲得件数・額が前年度実績を超えるなど、全体として計画通り進められていると認められる。
- これらの点から、大項目評価としては、A評価（「計画どおり」進捗している）が妥当であると判断した。

評価結果	S 特筆すべき 進捗状況	A 計画どおり	B おおむね計画 どおり	C やや遅れてい る	D 重大な改善事 項あり
------	--------------------	------------	--------------------	------------------	--------------------

#### <大項目評価にあたって考慮した事項>

- 評価にあたって考慮した項目は次のとおりであった。  
 (《 》は小項目評価の項目名、( )は項目番号、【 】は小項目評価の結果)  
《経常経費の抑制》(92~94)【Ⅲ】  
 経常経費の抑制については、年度計画を着実に実施している。  
《自主財源捻出》(95)【Ⅲ】  
 外部資金獲得件数・額ともに、前年度よりも増加しており、高く評価する。ただし、増加量は計画通りであることから、自己評価どおりⅢが妥当であると判断した。

#### <小項目評価の集計結果> 小項目評価結果P32~P33参照

項目のすべてが、小項目評価のⅢに該当するため、小項目評価の集計では、A評価（「計画どおり」に進捗している）に該当する。

	I 計画を大 幅に下回 っている	II 計画を十 分に実施 できてい ない	III 計画を順 調に実施 している	IV 計画を上 回って実 施してい る	V 計画を大 幅に上回 って実施 している
経常経費の抑制	0	0	1	0	0
自主財源捻出	0	0	1	0	0
資産の運用管理の改善	0	0	1	0	0
学生納付金	0	0	1	0	0
運営費交付金	0	0	1	0	0
合計	0	0	5	0	0

#### (2) 評価にあたっての意見、指摘等

- 大学の水準は、教員の知的営為による教育と研究の総体によって決まる。したがって、教職員のスリム化にあっては、教育研究水準の低下につながらないように配慮が求められる。
- 医学部を擁しない大学でありながら、科学研究費の獲得について、医学部をもつ同規模大学と遜色がない点については評価する。

### 3-4 「自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供」に関する大項目評価

#### (1) 評価結果と判断理由

- 小項目評価の集計結果では、A評価（「計画どおり」進捗している）となる。
- 利用者がより閲覧しやすいようにホームページの改善を行い、その結果、ホームページ閲覧数が増加するなど、わかりやすく効果的な広報展開に努めている。また、府大学術情報リポジトリ（※<sup>1</sup>）への紀要論文、学位論文等の登録など、教育研究活動の保存、蓄積、そして学内外への発信という重要な取組みも行っており、全体として計画通り進められていると認められる。
- これらの点から、大項目評価としては、A評価（「計画どおり」進捗している）が妥当であると判断した。

評価結果	S 特筆すべき 進捗状況	A 計画どおり	B おおむね計画 どおり	C やや遅れてい る	D 重大な改善事 項あり
------	--------------------	------------	--------------------	------------------	--------------------

#### <大項目評価にあたって考慮した事項>

- ホームページの改善により、閲覧数が増加した点は評価できる。
- 紀要論文、学位論文等の府大学術情報リポジトリへの登録は、教育研究活動を保存・蓄積し、学内外へ発信するという重要な取組みであり、評価する。
- 情報開示や、戦略的広報に向けた広報課の設置等については、年度計画を着実に実施している。

#### <小項目評価の集計結果> 小項目評価結果P34~P35参照

小項目は1項目のみであり、評価はⅢに該当するため、小項目評価の集計では、A評価（「計画どおり」に進捗している）となる。

	I	II	III	IV	V
	計画を大幅に下回っている	計画を十分に実施できていない	計画を順調に実施している	計画を上回って実施している	計画を大幅に上回って実施している
自己点検・評価及び情報提供	0	0	1	0	0
合計	0	0	1	0	0

#### (2) 評価にあたっての意見、指摘等

- ホームページの閲覧数だけでなく、さらに踏み込んで、実際に受験者等利用者の役に立っているかという検証が求められる。
- 英語版のホームページについて、海外からの留学希望者のニーズに合った情報を掲載し、充実させることが国際化推進の観点からも今後の課題である。

※<sup>1</sup> 大阪府立大学で生産された教育研究成果等を電子的に蓄積・保存し、インターネットを通じて学内外へ発信するためのシステム。

### 3-5 「その他業務運営」に関する大項目評価

#### (1) 評価結果と判断理由

- 小項目評価の集計結果では、A評価（「計画どおり」進捗している）となる。
- エコキャンパスへの取組みを推進し、年度計画の目標を上回る大学全体のCO2排出量削減の達成やキャンパスプランに基づいた計画的な施設改修・整備など、全体として計画通り進められていると認められる。
- これらの点から、大項目評価としては、A評価（「計画どおり」進捗している）が妥当であると判断した。

評価結果	S 特筆すべき 進捗状況	A 計画どおり	B おおむね計画 どおり	C やや遅れている	D 重大な改善事 項あり
------	--------------------	------------	--------------------	--------------	--------------------

#### <大項目評価にあたって考慮した事項>

- CO2排出量の削減目標を達成できた点などは評価できる。
- 施設改修・整備や安全管理等については、年度計画を着実に実施している。

#### <小項目評価の集計結果> 小項目評価結果P36~P37参照

小項目は1項目のみであり、評価はⅢに該当するため、小項目評価の集計では、A評価（「計画どおり」に進捗している）となる。

	I	II	III	IV	V
	計画を大幅に下回っている	計画を十分に実施できていない	計画を順調に実施している	計画を上回って実施している	計画を大幅に上回って実施している
その他業務運営	0	0	1	0	0
合計	0	0	1	0	0